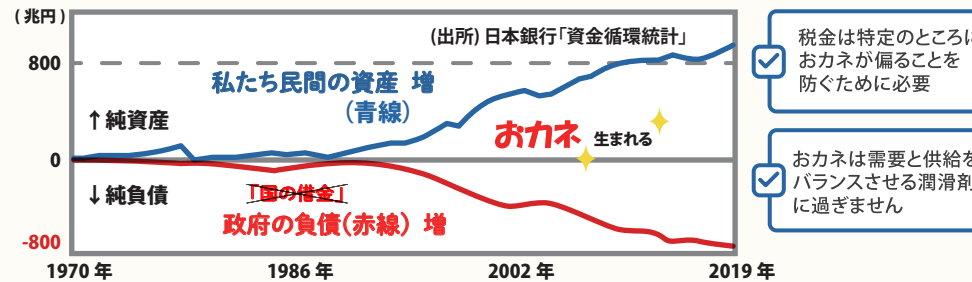
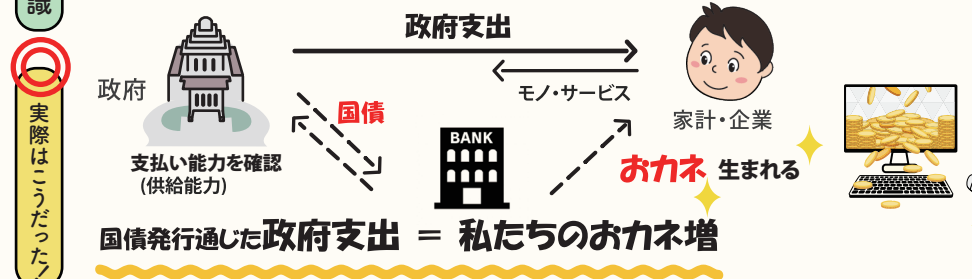


# ◎ お金は無から生まれている 本当の財源は税金でもお金でもなかった!



▶ **ここがポイント!** 現代では **おカネは無から生まれています**  
それを**Money Creation** (信用創造) と呼びます。銀行は支払い能力を認めて、通帳に〇〇〇万円と入力するだけ! おカネは無から生まれます。  
日銀保証の地方債や政府貨幣(硬貨)のように別の方法でもおカネは生まれます。

税金もお金も本当の財源ではありません

Q **でも結局、借金なんですよ?** → **A 違います**

日本国の中央銀行「日本銀行」(日銀)が金利調節のために民間銀行から国債を引き取る結果として、国債は日銀により保証されています。(参考)2021年6月末時点(速報値)で日銀が国債全体の44.1%保有  
銀行サービスを国債の利子で政府が支えるために国債の形をとっています。

Q **日本円の信用って?** ↓

A **国内の供給能力をおもとして信用され使われます**

右側の説明に続きます



## 01. お金とモノ・サービス 本当に必要なのは?

非常時には本当に必要なものが見えてきます。無人島に流され戻れなくなってしまったA君とB君の会話で考えてみましょう。A君はどちらの頼み方をすればB君に手伝ってもらえるでしょうか?

A君 【発言1】日本円(お金)を支払うから料理を手伝ってほしい  
【発言2】力仕事をするから料理を手伝ってほしい

B君

お金はこの島ではただの紙でしかないから、力仕事をしてくれるなら手伝うよ 正解は【発言2】!

**国同士の取引も**  
"モノ・サービス(財)を生み出す源"  
"供給能力"によって成り立っています。

供給能力の低い国は…輸入に頼り、海外収支(経常収支)は赤字、外貨不足、通貨安、物価高に…例えば外貨建ての国債で外貨得ておカネを調達してもモノ・サービス不足が続けば財政破綻、通貨暴落、ハイパーインフレへと悪化。

つまり、自国で供給出来る分しか、国民はモノ・サービスを得られないのです。  
一方、日本は長年の高い供給能力のおかげで海外に資産まで持っています。

日本の現状(項目◎)と課題(項目02~)をそれぞれ見ていきましょう。

(参考)2020年の経常収支黒字額: 17兆円 / 2020年末の日本の対外純資産: 356兆円  
財政破綻の心配のない自国通貨建て国債のみで資金調達が出来ている国は世界で日本含む数か国だけ

## 02. 使わないと本当の財源は減る

本当の財源である供給能力は需要がなければ、徐々になくなっていきます。ここに日本の問題があります。低迷期には将来不安から貯蓄を優先するような悪循環が起き、供給能力の破壊は、儲けにくく公共性の高い産業から起こっていきます。

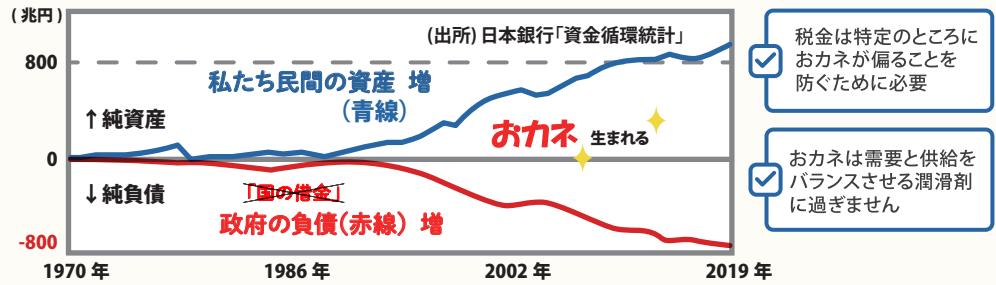


# ◎ お金は無から生まれている 本当の財源は税金でもお金でもなかった！

?? これまでの常識



○ 実際はこうだった?



- 税金は特定のところでおカネが偏ることを防ぐために必要
- おカネは需要と供給をバランスさせる潤滑剤に過ぎません

▶ **ここがポイント!** 現代では **おカネは無から生まれています**  
それを **Money Creation** (信用創造) と呼びます。銀行は支払い能力を認めて、通帳に〇〇〇万円と入力するだけ! おカネは無から生まれます。  
日銀保証の地方債や政府貨幣(硬貨)のように別の方法でもおカネは生まれます。  
**税金もお金も本当の財源ではありません**

Q **でも結局、借金なんですよ?** → **A 違います**

日本国の中央銀行「日本銀行」(日銀)が金利調節のために民間銀行から国債を引き取る結果として、国債は日銀により保証されています。(参考)2021年6月末時点(速報値)で日銀が国債全体の44.1%保有銀行サービスを国債の利子で政府が支えるために国債の形をとっています。

Q **日本円の信用って?** ↓

A **国内の供給能力をおもとして信用され使われます**  
右側の説明に続きます▶



## 01. お金とモノ・サービス 本当に必要なのは?



非常時には本当に必要なものが見えてきます。無人島に流され戻れなくなってしまったA君とB君の会話で考えてみましょう。A君はどちらの頼み方をすればB君に手伝ってもらえるでしょうか?

**A君**

【発言1】日本円(お金)を支払うから料理を手伝ってほしい

【発言2】力仕事をするから料理を手伝ってほしい

**B君**

お金はこの島ではただの紙でしかないから、力仕事をしてくれるなら手伝うよ 正解は【発言2】!

**国同士の取引も**  
"モノ・サービス(財)を生み出す源"  
"供給能力"によって成り立っています。

供給能力の低い国は…輸入に頼り、海外収支(経常収支)は赤字、外貨不足、通貨安、物価高に…例えば外貨建ての国債で外貨得ておカネを調達してもモノ・サービス不足が続けば財政破綻、通貨暴落、ハイパーインフレへと悪化。

つまり、自国で供給出来る分しか、国民はモノ・サービスを得られないのです。  
一方、日本は長年の高い供給能力のおかげで海外に資産まで持っています。

日本の現状(項目◎)と課題(項目02~)をそれぞれ見ていきましょう。  
(参考)2020年の経常収支黒字額: 17兆円 / 2020年末の日本の対外純資産: 356兆円  
財政破綻の心配のない自国通貨建て国債のみで資金調達が出来ている国は世界で日本含む数か国だけ

## 02. 使わないと本当の財源は減る



本当の財源である供給能力は需要がなければ、徐々になくなっていきます。ここに日本の問題があります。低迷期には将来不安から貯蓄を優先するような悪循環が起き、供給能力の破壊は、儲けにくく公共性の高い産業から起こっていきます。



**増税・歳出削減でさらに悪化!**